

第 25 回  
日本生命倫理学会  
年次大会  
プログラム

<大会テーマ>

死生学と生命倫理

- ★会 期：2013 年 11 月 30 日（土）・12 月 1 日（日）
- ★会 場：東京大学本郷キャンパス
- ★大会長：池澤 優（東京大学大学院人文社会系研究科 教授）

日本生命倫理学会

## ご挨拶

池澤 優（東京大学）

生命倫理という領域が成立したのは1960～70年代であります。それは単に新しい学問の誕生であったばかりではなく、大きな文化現象の一部であったと言えます。そして、その同じ文化現象の一部として「死の自覚運動」（デス・アウェアネス・ムーブメント）と呼ばれる流れがありました。そこから生まれた「死生学」は、生命倫理学と多くの接点を持ちながら、併存してきました。

本年度の年次大会を招致した東京大学文学部死生学・応用倫理センターは、この死生学と生命倫理の研究・教育を大きな柱として活動しております。そこで本年度の大会テーマとして、死生学と生命倫理学がどのような接点を持ち、どのような協働が可能なのか、それを通してどのような分野を開拓することができるのかを考えていきたいと思っております。それは一つには世界中の死生をめぐる考え方がどのように生命倫理に影響を与えてきたか、過去を振り返って現在を再考するという意味があるでしょうし、一つには新しい学融合に向け、未来を展望する意味があると思っております。

既に多様なテーマについて、数多くのシンポジウム、ワークショップ、演題の申し込みをいただきました。おかげをもちまして、充実したプログラムにすることができたと感謝しております。会員の皆様と有益な時間を共有できますことを希望いたします。

### 第25回年次大会実行委員会

大会長	池澤 優	(東京大学)
実行委員長	清水 哲郎	(東京大学)
事務局長	堀江 宗正	(東京大学)
副事務局長	勝沼 聡	(東京大学)
会計	圓増 文	(東京大学)
実行委員	会田 薫子	(東京大学)
	足立 智孝	(亀田医療大学、学会事務局長)
	土屋 敦	(東京大学)
	古澤 有峰	(東京大学)
	武藤 香織	(東京大学、学会企画委員長)

## 参加者へのお願い

---

### 1. 参加申し込みについて

申し込み方法および参加費（抄録集代含む）は以下の通りです。

#### 【事前登録】

- ・ 払込用紙（同封）に必要事項をご記入の上、10月18日（金）までに参加費をお支払いください。
- ・ お名前の後ろに括弧書きにてご所属を記入してください。
- ・ 払込用紙に記載されたご住所に、11月上旬より順次、抄録集と参加証をお送りしますので、当日お忘れなくお持ちください。

■会 員---5,000 円

■非会員---6,000 円

■学 生---2,000 円（学生会員を含む）

#### 【当日申込】

- ・ 原則として、事前登録（口座振込）にて、お申し込みをお願いいたします。やむをえない事情により当日申し込まれる方は会場内の当日受付（法文1号館1階21・22教室前のロビー）までお越しください。

■会 員---6,000 円

■非会員---7,000 円

■学 生---2,000 円（学生会員を含む）

- ・ 大会当日は、東京大学法文1号館1階21・22教室前のロビーにて下記の時間に受付を行います。当日申込の方は受付で参加証・抄録集などをお受け取りください。

11月30日（土） 8:30～17:00

12月1日（日） 8:30～15:30

- ・ 非会員の大会申し込み方法の詳細に関しましては、年次大会ホームページをご覧ください。  
第25回日本生命倫理学会年次大会 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/25jab/information.html>
- ・ 抄録集のみ別途ご希望の場合は、当日受付にて一冊1,000円で販売しております。

### 2. クロークについて

- ・ 会場内にクローク（法文1号館1階113教室）を用意しております。当日申込の方は法文1号館1階21・22教室前のロビー受付で参加証を受け取ってからご利用ください。ご利用いただける時間帯は両日とも8:30～17:40です。懇親会中は別に荷物置き場を設けます。

### 3. 昼食について

- ・ 本大会ではお昼の弁当・お茶などのご用意は特にいたしません。したがって、これらの事前注文はお受けいたしません。
- ・ 昼食については適宜、近隣の店舗をご利用くだされば幸いです。

### 4. 懇親会について

- ・ 懇親会は、11月30日（土）18:00～20:00に医学部教育研究棟13Fカポ・ペリカーノにて開催いた

します。(場所につきましては7ページをご参照ください。)

- ・ 懇親会費は、5,000円です。参加ご希望の方は、事前登録される際にお申し込みとお支払いを一緒  
お願いいたします。当日も会場にて受け付けますが、原則として事前にお申し込みください。

## 5. 評議員会・理事会・総会について

以下の日時・会場で行われる予定です。

評議員会：11月30日(土) 12:35～13:25 法文2号館2階教員談話室  
理 事 会：12月1日(日) 12:20～13:20 法文2号館2階教員談話室  
総 会：12月1日(日) 13:30～14:15 法文1号館2階25教室

## 6. 新規入会ならびに年会費納入について

日本生命倫理学会事務局のデスクを設けます。入会に関するお問い合わせはこちらでお願いいたします。

## 7. 駐車場・託児施設について

- ・ 参加者の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・ 託児をご希望される方には、会場近くの託児施設「マザーグース東京湯島営業所・リトルハウス」  
(<http://homepage3.nifty.com/Yushima-Ikuji-Hiroba/index.html>) のご紹介を行っております。詳しくは同封のチラシ「託児施設のご案内」をご覧ください。

## 8. その他

- ・ 原則として館内呼び出しはいたしません。ご用件などございましたら受付までお越しください。
- ・ 会場内は禁煙です。喫煙は指定された喫煙所にてお願いいたします。
- ・ 会場内では携帯電話の電源を切るかマナーモードにしてください。
- ・ 会場内での写真撮影、ビデオ録画、録音、取材等は、知的財産権に配慮し、発表者の許可を得て行ってください。
- ・ 会場内でのコピーにつきましては対応しかねます。各自、必要に応じて、近隣のコンビニエンスストア等をご利用ください。
- ・ インターネットの接続サービスはございません。
- ・ 大会ポスターは、年次大会ホームページ (<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/25jab/index.html>) からダウンロードしていただけるようにする予定です。

## シンポジウム、ワークショップ、一般演題（口演・ポスター）の発表について

★ 議論の時間を十分に確保するため、時間厳守をお願いいたします。

### 1. シンポジウム、ワークショップ、一般演題（口演）について

- 各会場にベル係を配置し、演者が登壇した瞬間からストップウォッチで時間計測を開始し、原則として三回ベルを鳴らします。
  - 配布資料がある場合は、適宜ご自身で印刷・配布・管理をお願いいたします。年次大会事務局で承ることはできません。
- (1) 今大会では、昨年度の方式を踏襲して、シンポジウムとワークショップのやり方を区別しています。
- シンポジウムは従来の形式に準じ、90分のうち、報告時間が60分以内、フロアを交えたディスカッションが30分以上になります。
  - ワークショップは従来の形式と異なり、90分のうち、報告時間が45分以内、フロアを交えたディスカッションが45分以上になります。ディスカッションにおいては、オーガナイザーはフロアとのコミュニケーションを重視して進行してください。
- (2) 一般演題（口演）は1演題あたり20分のうち、発表時間が10分、質疑応答時間が10分です。ご発表の30分前までに、法文1号館1階21・22教室前ロビーの演者受付にお越しください。

### 2. パソコンによるプレゼンテーションについて

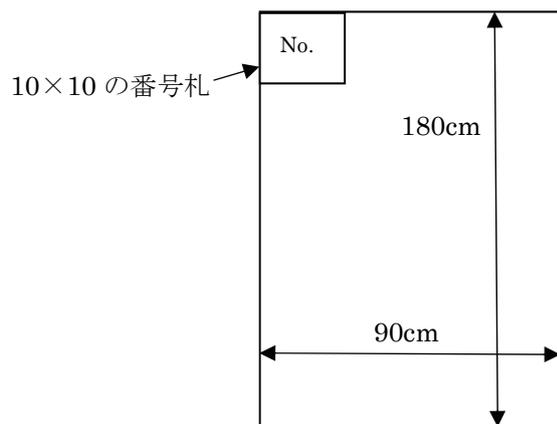
- 発表用のパソコン（OS: Windows）は年次大会事務局で準備いたします。持ち込みのパソコンによる発表はできません。
- 発表データは必ず Microsoft Power Point 2003 以上のバージョン で作成し、添付ファイルにて 11月17日（日）から11月24日（日）の間（期間厳守） に年次大会事務局メールアドレス jab2013tokyo@gmail.com にお送りください。なお アニメーションをご使用の方は、Microsoft Power Point 2010 以上のバージョン をご使用ください。またデータ添付前に ウイルスチェック を必ずご自身で責任をもって行うようにしてください。
- 添付ファイル名には必ず (1)「発表日」、(2)「一般演題／シンポジウム／ワークショップ」の別、(3)「セッション番号」(I～)、(4)氏名 を順番に明記してください（例：「1130 一般演題 I 山田太郎」）。なお発表日とセッション番号につきましては、各自、本プログラム中の該当箇所をご確認願います。シンポジウム・ワークショップのオーガナイザーの方は、ご担当のセッションの全演者の発表データをまとめて添付ファイルにてお送りください。
- 添付ファイルを受領したことをお知らせする確認のメールを、受領後3日以内にお送りいたします。もし3日を過ぎても返事が届かない場合は、年次大会事務局へお問い合わせ下さい。
- ご発表なさるセッションが開始される30分前までに法文1号館1階21・22教室前ロビーのPC受付にて発表ファイルをご確認できます（データの更新はできません）。
- 動画を発表に用いるご予定の方は事前にご相談ください。インターネットを用いた発表はできません。

### 3. ポスター発表について

- ポスター発表者は、11月30日（土）9：30以降、法文2号館2階1大・2大教室前の多目的スペー

スに設置された所定のパネルにポスターを掲示してください。押しピンは会場にて用意いたします。

- ご発表の30分前までに法文1号館1階21・22教室前ロビーの演者受付にお越しください。
- 一般演題（ポスター）の時間帯には、ご自身のポスターの前で待機してください。**発表時間は5分、質疑応答時間は5分**です。進行は座長の指示に従ってください。
- 掲示は12月1日（日）15時30分までとします。大会終了後、撤去されないポスターは事務局で処分いたしますのでご了承ください。
- パネルの大きさは90cm（横）×180cm（縦）で、左上に演題番号を表示しますので、演題名・所属・氏名・発表内容のポスターを各自でご準備ください。





## 最寄り駅・停留所への乗り継ぎ

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸ノ内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅(JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

## 本郷キャンパス内マップ



## タイムテーブル

### 第1日目 11月30日(土)

	A会場 (法文1号館 2階25教室)	B会場 (法文2号館 2階1大教室)	C会場 (法文2号館 2階2大教室)	D会場 (法文1号館 1階21教室)	E会場 (法文1号館 1階22教室)		会議室 (法文2号館2階 教員談話室)
9:30~9:35	<b>開会式</b>						ポスター掲示
9:40 ~ 10:40	大会長講演  生命倫理と伝統的 文化—中国におけ る知情同意(インフ ォームド・コンセ ント)に関する論争を 題材に						
10:40~10:55	休憩						
10:55 ~ 12:25	大会企画 シンポジウム I  日本人の生命観と 生命倫理	公募シンポジウム II  生命科学の健全 な発展に向けた ガバナンス体制 のあり方	一般演題 I  End of Life ケア	一般演題 III  倫理と法	公募ワークショップ I  「医学的無益性」概 念の適用に関する 批判的考察		12:35
12:25~13:40	昼食						評議員会
13:40 ~ 15:10	大会企画 シンポジウム II  死生学と 臨床倫理	公募シンポジウム III  第三者の身体を 用いる生命科学 技術と生権力 —解釈と抵抗の 可能性	一般演題 II  死生観と宗教・ 思想・文化	一般演題 IV  先端医療技術	公募ワークショップ II  東日本大震災と 東北メディカル・ メガバンク		13:25
	15:10~ (※ 掲示されるポスター発表をご覧ください)						
15:30~15:45	休憩						
15:45 ~ 17:15	公募シンポジウム I  治療の差し控え 中止・緩和ケアと 安楽死—死の質の よさを求めて	公募シンポジウム IV  ダークツーリズム —命の尊厳への 挑戦か、鎮魂の 旅か	公募シンポジウム V  悲しみを取り戻す —悲しみの忘却・ 否認・操作に抗し て	一般演題 V  生殖医療と 子ども・家族	一般演題 VI  臨床研究、 研究倫理		
	17:15~ (※ 掲示されるポスター発表をご覧ください)						
18:00 ~ 20:00	懇親会(医学部教育研究棟 13F カボ・ペリカーノ)						

第2日目 12月1日(日)

	A会場 (法文1号館 2階25教室)	B会場 (法文2号館 2階1大教室)	C会場 (法文2号館 2階2大教室)	D会場 (法文1号館 1階21教室)	E会場 (法文1号館 1階22教室)		会議室 (法文2 号館2階 教員談話 室)	
9:00 ~ 10:30	公募シンポジウム VI  突然に亡くなられた方とその家族への対応	公募シンポジウム VII  生命と尊厳—精神障害者の身体疾患治療の現実	一般演題 VII  医療倫理	一般演題 X  生命倫理の諸問題②	公募ワークショップ III  生殖をめぐる親と子の倫理の探求—PGDをめぐる討議を通じて	ポスター掲示		
10:30~10:40	休憩							
10:40 ~ 12:10	大会企画 25周年記念 シンポジウム  低線量被曝と生命倫理	公募シンポジウム VIII  医療ネグレクトへの「事前的関係調整法」による対応—「死生観」の対立とこれに起因する「関係障害」を克服するために	一般演題 VIII  臨床倫理	一般演題 XI  生命倫理の諸問題③	公募ワークショップ IV  病院組織倫理—臨床の倫理的実践をサポートするシステムを求めて	一般演題ポスター発表	12:20	
12:10~13:30	昼食	昼食					理事会	
13:30~14:15	総会							13:20
14:20 ~ 15:30	大会企画 25周年記念講演  Nancy Berlinger “Improving Care Near the End of Life: What Good Can Ethics Do?”		一般演題 IX  生命倫理の諸問題①			ポスター掲示		
15:30~15:45	休憩						撤収	
15:45 ~ 17:15	学会企画 シンポジウム  いまの時代、尊厳を問い直す	公募シンポジウム IX  サイバニクスを医療・介護に活かす—ロボットスーツ HAL® 治験と人支援技術の未来展望	公募シンポジウム X  宗教の死生観から問う現代日本の生命倫理問題—出生前診断、終末期医療、再生医療を中心に	一般演題 XII  高齢者ケア	公募ワークショップ V  脳神経科学研究の現状に即した脳神経倫理の取組			
17:20~17:30	閉会式							

# 第25回日本生命倫理学会年次大会 プログラム

第1日目 11月30日(土)

## A会場(法文1号館2階25教室)

9:30~9:35 開会宣言 清水 哲郎(大会実行委員長)  
開会挨拶 池澤 優(大会長)

9:40~10:40 大会長講演 池澤 優(大会長)  
生命倫理と伝統的文化  
——中国における<sup>インフォームド・コンセント</sup>知情同意に関する論争を題材に  
座長: 島菌 進(上智大学)

10:55~12:25 大会企画シンポジウムI

### 日本人の生命観と生命倫理

オーガナイザー: 池澤 優(東京大学)  
榊原 哲也(東京大学)

「花びらは散る 花は散らない」論

竹内 整一(鎌倉女子大学)

仏教の生命倫理観について

下田 正弘(東京大学)

文化の違いと生命倫理

香川 知晶(山梨大学)

13:40~15:10 大会企画シンポジウムII

### 死生学と臨床倫理

オーガナイザー: 霜田 求(京都女子大学)  
会田 薫子(東京大学)

臨床現場における「死生学と生命倫理」

三浦 靖彦(医療法人財団慈生会 野村病院)

患者さんにとって善いこととは?——がん専門病院の看護師の立場から

濱口 恵子(公益財団法人 がん研究会有明病院)

終末期医療と法——決められない法と倫理、その方向性

樋口 範雄(東京大学)

臨床倫理をめぐるケア従事者と研究者の協働

清水 哲郎(東京大学)

15:45～17:15 公募シンポジウム I

治療の差し控え中止・緩和ケアと安楽死——死の質のよさを求めて

オーガナイザー：盛永 審一郎（富山大学）

英国における終末期医療の議論と問題点

児玉 聡（京都大学）

治療停止・安楽死に関するアメリカの状況

香川 知晶（山梨大学）

ドイツにおける臨死介助をめぐる近年の動向

甲斐 克則（早稲田大学）

フランスにおける安楽死問題

小出 泰士（芝浦工業大学）

## B会場（法文2号館2階1大教室）

### 10:55～12:25 公募シンポジウムⅡ

#### 生命科学の健全な発展に向けたガバナンス体制のあり方

オーガナイザー：四ノ宮 成祥（防衛医科大学校）  
河原 直人（東京女子医科大学）  
福士 珠美（公益財団法人 先端医療振興財団）

#### デュアルユース問題への包括的対応：ガバナンスと意識啓発

峯畑 昌道（独立行政法人 科学技術振興機構）

#### 京都大学 iPS 細胞研究所上層倫理研究部門について

八代 嘉美（京都大学）

#### サステナビリティ・イノベーションに向けたガバナンス

鎗目 雅（東京大学）

### 13:40～15:10 公募シンポジウムⅢ

#### 第三者の身体を用いる生命科学技術と生権力——解釈と抵抗の可能性

オーガナイザー：柳原 良江（東京大学）  
司会：金森 修（東京大学）  
コメンテーター：小松 美彦（武蔵野大学）

#### 第三者の関わる生殖技術利用にみる価値の攪乱について——フーコーの生権力論を用いた分析

柳原 良江（東京大学）

#### 「植民地」的生とその再生産について

入江 公康（武蔵野美術大学）

### 15:45～17:15 公募シンポジウムⅣ

#### ダークツーリズム——命の尊厳への挑戦か、鎮魂の旅か

オーガナイザー：齊尾 武郎（フジ虎ノ門健康増進センター）

#### ダークツーリズムとは何か

齊尾 武郎（フジ虎ノ門健康増進センター）

#### サウルフモノニ ワタシハナリタイ

富岡 譲二（緑泉会 米盛病院）

#### 大規模災害と医学研究の倫理

栗原 千絵子（放射線医学総合研究所）

#### 原発災害被災者の苦難と訪問学習者の経験

島菌 進（上智大学）

## C会場（法文2号館2階2大教室）

### 10:55～12:25 一般演題（口演）I End of Life ケア

- 10:55～11:00 座長挨拶：鶴若 麻理（聖路加看護大学）
- 11:00～11:20 急性期患者の意思決定プロセス支援  
大桃 美穂（町田市民病院）
- 11:20～11:40 在宅で家族を看取った遺族による在宅ホスピスへの認識  
安藤 満代（聖マリア学院大学）  
二ノ坂 保喜（二ノ坂クリニック）
- 11:40～12:00 終末期医療に携わる医師の死生観とスピリチュアルケア  
濱崎 絵梨（ノートルダム清心女子大学）  
葛生 栄二郎（ノートルダム清心女子大学）
- 12:00～12:20 マニュアルからブリコラージュへ——緩和ケア病棟における鎮静にかんして  
松岡 秀明（大阪大学）
- 12:20～12:25 座長総括

### 13:40～15:10 一般演題（口演）II 死生観と宗教・思想・文化

- 13:40～13:45 座長挨拶：土井 健司（関西学院大学）
- 13:45～14:05 台湾における「死に方」の言説  
——新聞記事から見た「安楽死」、「自殺死」、「安寧死」について  
鍾 宜錚（立命館大学／日本学術振興会）
- 14:05～14:25 限界概念としての「人間」——後期西田についての死生学的考察  
小田桐 拓志（スタンフォード大学）
- 14:25～14:45 医療従事者が患者に与える宗教的背景の影響について  
杉浦 道雄（同朋大学）
- 14:45～15:05 移植臓器にみられる「部分と全体」——バロック身体論の可能性  
山崎 吾郎（大阪大学）
- 15:05～15:10 座長総括

### 15:45～17:15 公募シンポジウムV

#### 悲しみを取り戻す——悲しみの忘却・否認・操作に抗して

オーガナイザー：安藤 泰至（鳥取大学）

「いのち」の看取りと脳死臓器移植のはざま——ドナーとなる患者の看取りに関わった経験から

藤川 弘美（看護師）

学校現場で「悲しみ」に向き合うことはできるのか

山本 佳世子（上智大学）

人体実験における「悲しみ」の隠ぺい

沖永 隆子（帝京大学）

## D会場（法文1号館1階21教室）

### 10:55～12:25 一般演題（口演）Ⅲ 倫理と法

- 10:55～11:00 座長挨拶：横野 恵（早稲田大学）
- 11:00～11:20 生殖の自由に対する徳倫理学のアプローチ  
稲村 一隆（日本学術振興会・慶応義塾大学）
- 11:20～11:40 日本における「尊厳」の系譜——尊属殺から安楽死・尊厳死へ  
寿台 順誠（早稲田大学）
- 11:40～12:00 事前指示の撤回に関する倫理的考察  
鈴木 崇志（京都大学）
- 12:00～12:20 胎児の死体の行方と倫理  
——フランス公立病院における遺体安置所の監査報告書を手がかりに  
山本 由美子（北海道文教大学）
- 12:20～12:25 座長総括

### 13:40～15:10 一般演題（口演）Ⅳ 先端医療技術

- 13:40～13:45 座長挨拶：児玉 聡（京都大学）
- 13:45～14:05 新優生学思想における「自由」について  
——「開かれた未来への権利」を手掛かりに  
赤塚 京子（京都大学）
- 14:05～14:25 iPS細胞研究をめぐる倫理問題——iPS細胞の道徳的地位  
石川 真帆（京都大学）
- 14:25～14:45 再生医療と法  
旗手 俊彦（札幌医科大学）
- 14:45～15:05 米国における現代の脳死論争の形而上学基礎付け  
峯村 優一（ニューヨーク州立大学）
- 15:05～15:10 座長総括

### 15:45～17:15 一般演題（口演）Ⅴ 生殖医療と子ども・家族

- 15:45～15:50 座長挨拶：堂圃 俊彦（静岡大学）
- 15:50～16:10 子どもを選択することの倫理性  
江口 聡（京都女子大学）
- 16:10～16:30 科学的親子鑑定の利用拡大における問題点  
遠矢 和希（日本学術振興会）
- 16:30～16:50 フランスにおける生殖補助医療と平等——2013年同性婚法案審議の検討から  
小門 穂（立命館大学）
- 16:50～17:10 母体血を用いた胎児の遺伝学的検査に関するフランスの法的状況  
本田 まり（芝浦工業大学）
- 17:10～17:15 座長総括

## E会場（法文1号館1階22教室）

### 10:55～12:25 公募ワークショップⅠ

#### 「医学的無益性」概念の適用に関する批判的考察

オーガナイザー：櫻井 浩子（国立情報学研究所）  
加藤 太喜子（岐阜医療科学大学）  
報告者：土屋 貴志（大阪市立大学）  
野崎 亜紀子（京都薬科大学）  
門岡 康弘（熊本大学／モナシュ大学）

### 13:40～15:10 公募ワークショップⅡ

#### 東日本大震災と東北メディカル・メガバンク

オーガナイザー：末永 恵子（福島県立医科大学）  
報告者：黒須 三恵（東京医科大学）  
野呂 圭（仙台中央法律事務所）  
水戸部 秀利（県民センター世話人 医師）  
佐立 昭（住まいと復興を考える会）

### 15:45～17:15 一般演題（口演）Ⅵ 臨床研究、研究倫理

15:45～15:50 座長挨拶：武藤 香織（東京大学）

15:50～16:10 オンラインとオンサイトを併用した研究倫理教育の検討

楠瀬 まゆみ（東京大学）  
武藤 香織（東京大学）

16:10～16:30 幹細胞研究者の行動基準の作成

佐藤 恵子（京都大学）  
鈴木 美香（京都大学）

16:30～16:50 臨床研究に関する説明文書の記載内容の現状と提案

——3施設における説明文書の調査からみえてくること

鈴木 美香（京都大学）  
佐藤 恵子（京都大学）

16:50～17:10 体内植込み型医療機器臨床試験における倫理的課題の探索

中田 はる佳（国立循環器病研究センター／東京大学）  
松井 健志（国立循環器病研究センター）  
會澤 久仁子（国立循環器病研究センター）  
武藤 香織（東京大学）

17:10～17:15 座長総括

**第2日目 12月1日(日)**

**A会場(法文1号館2階25教室)**

**9:00～10:30 公募シンポジウムVI**

**突然に亡くなられた方とその家族への対応**

オーガナイザー：木林 和彦(東京女子医科大学)

ターミナルケアとエンゼルケア

佐藤 紀子(東京女子医科大学)

死の取扱い制度の現状と課題

吉田 謙一(東京大学)

遺族への説明

辻村 貴子(東京女子医科大学)

死亡事故の法律と再発防止

今井 猛嘉(法政大学)

**10:40～12:10 大会企画25周年記念シンポジウム**

**低線量被曝と生命倫理**

オーガナイザー：堀江 宗正(東京大学)

放射線の健康影響問題の生命倫理的な次元とその討議

島菌 進(上智大学)

臨床と予防——放射線障害の認識論

加藤 尚武(京都大学)

**13:30～14:15 総会**

**14:20～15:30 大会企画25周年記念講演**

**“Improving Care Near the End of Life: What Good Can Ethics Do?”**

Nancy Berlinger (Hastings Center)

**15:45～17:15 学会企画シンポジウム**

**いまの時代、尊厳を問い直す**

オーガナイザー：手島 恵(千葉大学)

〈反自然性〉の定位としての尊厳

金森 修(東京大学)

「人間の尊厳」の生物学主義的解釈と「個人の尊厳」

丸 祐一(東京大学/千葉大学)

生命の尊厳・人権の尊重・臨床精神医学のジレンマ——認知症医療における意思決定を通じて

斎藤 正彦(東京都立松沢病院)

## B会場（法文2号館2階1大教室）

### 9:00～10:30 公募シンポジウムⅦ

#### 生命と尊厳——精神障害者の身体疾患治療の現実

オーガナイザー：大西 香代子（園田学園女子大学）

#### 救急車を呼んではいけなかったのでしょうか？——救急受診の果てに

新澤 克憲（NPO やっとこ ハーモニー）

#### 精神科医療と身体疾患

吉田 衣美（国府台病院）

#### 精神障害のある人の身体疾患治療を妨げる要因

池原 毅和（東京アドヴォカシー法律事務所）

### 10:40～12:10 公募シンポジウムⅧ

#### 医療ネグレクトへの「事前的関係調整法」による対応

#### ——「死生観」の対立とこれに起因する「関係障害」を超克するために

オーガナイザー：保条 成宏（福岡教育大学）

#### 医療ネグレクトにおける法的ケースワーク——弁護士役割

高橋 直紹（愛知県弁護士会）

#### 医療ネグレクトにおける福祉的実践——ソーシャルワーカーの役割

森永 佳江（沖縄大学）

#### 事前的関係調整法の手続的側面——手続拠点としての病院内倫理委員会

一家 綱邦（京都府立医科大学）

#### 事前的関係調整法の実体的側面

#### ——重症新生児の生命に関わる治療方針決定における「子どもの最善の利益」とは何か

永水 裕子（桃山学院大学）

### 15:45～17:15 公募シンポジウムⅨ

#### サイバニクスを医療・介護に活かす

#### ——ロボットスーツ HAL® 治験と人支援技術の未来展望

オーガナイザー：松田 純（静岡大学）

#### 新しい医療機器としてのロボットスーツ HAL®

#### ——治験プロトコールにおける新たな治療概念とエンハンスメント

中島 孝（国立病院機構新潟病院）

#### サイバニクスによる人支援技術の現状と展望

山海 嘉之（筑波大学／CYBERDYNE（株））

#### HAL®に期待するパラダイムシフト——意思伝達機能のブレイクスルー

川口 有美子（NPO 法人 ALS/MND サポートセンターさくら会）

## C会場（法文2号館2階2大教室）

### 9:00～10:30 一般演題（口演）Ⅶ 医療倫理

- 9:00～9:05 座長挨拶：齋藤 信也（岡山大学）
- 9:05～9:25 医学の目指すものと臨床知の本質——医学理論の人間学による基礎づけに向けて  
西村 敏樹（社会福祉法人浴風会 浴風会病院）
- 9:25～9:45 ICにおける「緩やかなパターンリズム」の可能性の検討  
石田 安実（お茶の水女子大学）
- 9:45～10:05 「患者－医療者関係」改善の戦略としての PEC モデル  
村岡 潔（佛教大学）
- 10:05～10:25 終末期医療事件における一考察——司法における判決内容の指摘拡大の要請  
荒川 迪生（荒川医院／岐阜リビング・ウィルのあり方を考える会）
- 10:25～10:30 座長総括

### 10:40～12:10 一般演題（口演）Ⅷ 臨床倫理

- 10:40～10:45 座長挨拶：服部 健司（群馬大学）
- 10:45～11:05 がん終末期せん妄による患者に対して間欠的鎮静を行ったケアの検討  
井上 さよ子（愛知県がんセンター中央病院）
- 11:05～11:25 ナラティブコンサルテーションの理論と実践  
——リチャード・ゼイナーの実践を手掛かりに  
金城 隆展（琉球大学）
- 11:25～11:45 症例報告の臨床倫理  
佐野 信也（防衛医科大学校）  
立花 正一（防衛医科大学校）  
角田 智哉（防衛医科大学校）
- 11:45～12:05 意思決定における自律尊重の考察——価値の一貫性と変化の観点から  
日笠 晴香（日本学術振興会）
- 12:05～12:10 座長総括

### 14:20～15:30 一般演題（口演）Ⅸ 生命倫理の諸問題①

- 14:20～14:25 座長挨拶：柘植 あづみ（明治学院大学）
- 14:25～14:45 医療における「確率」をめぐる患者の意識  
——どのような思いで確率情報を受け取っているのか  
木内 さゆり（早稲田大学）
- 14:45～15:05 プラシーボ反応のリアリティ  
森 禎徳（東邦大学）
- 15:05～15:25 “Ethical sensitivity”の概念分析  
水澤 久恵（西武文理大学）  
Simon Elderton（新潟県立看護大学）
- 15:25～15:30 座長総括

15:45～17:15 公募シンポジウムⅩ

**宗教の死生観から問う現代日本の生命倫理問題**

**——出生前診断、終末期医療、再生医療を中心に**

オーガナイザー：吉田 淳雄（浄土宗総合研究所）

出生前診断をめぐる宗教的死生観と宗教の役割

藤山 みどり（宗教情報センター）

終末期医療における「事前指示」と宗教的死生観

吉田 淳雄（浄土宗総合研究所）

再生医療を考える宗教的死生観及び宗教的生命倫理の視座

金子 昭（天理大学）

## D会場（法文1号館1階21教室）

### 9:00～10:30 一般演題（口演）X 生命倫理の諸問題②

- 9:00～9:05 座長挨拶：蔵田 伸雄（北海道大学）
- 9:05～9:25 社会復帰を遂げた人々の、行く末への苦悩  
——終の棲家をめぐる、ハンセン病退所者の語りから  
横瀬 利枝子（早稲田大学）
- 9:25～9:45 台湾のハンセン病患者への看護ケアに関する研究  
鶴若 麻理（聖路加看護大学）  
横瀬 利枝子（早稲田大学）
- 9:45～10:05 中国における「優生政策」と生命科学政策の相互作用  
趙 斌（東京大学）  
洪 賢秀（東京大学）  
武藤 香織（東京大学）
- 10:05～10:25 「資質遺伝子検査」に対する一般市民の意識  
——日韓におけるフォーカス・グループインタビューを手掛かりに  
洪 賢秀（東京大学）  
武藤 香織（東京大学）
- 10:25～10:30 座長総括

### 10:40～11:50 一般演題（口演）XI 生命倫理の諸問題③

- 10:40～10:45 座長挨拶：美馬 達哉（京都大学）
- 10:45～11:05 慢性疾患患者として生きる日常と社会参加  
——心移植者のスティグマ体験の特徴とその問題状況  
友松 郁子（医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所）
- 11:05～11:25 組み直し腎臓交換に関する生命倫理的管見  
神馬 幸一（静岡大学）
- 11:25～11:45 生命倫理学における持続可能性の検討  
——フリッツ・ジャーの議論を手がかりとして  
空閑 厚樹（立教大学）
- 11:45～11:50 座長総括

### 15:45～17:15 一般演題（口演）XII 高齢者ケア

- 15:45～15:50 座長挨拶：田代 志門（昭和大学）
- 15:50～16:10 胃ろう造設の判断に関わる患者家族の心理変化についての検討  
押切 華映（北里大学）  
小形 香織（北里大学）  
有田 悦子（北里大学）  
竹下 啓（北里研究所病院）
- 16:10～16:30 高齢者への人工的な水分・栄養補給法（AHN）の検討に関する現状  
——看護師の認識に焦点をあてて  
佐伯 恭子（千葉大学）  
諏訪 さゆり（千葉大学）

- 16:30 ~ 16:50 シラバスからみた大学における介護福祉士養成課程の介護倫理教育の現状  
角田 ますみ (東邦大学)
- 16:50 ~ 17:10 高齢者の意思を医療行為の選択にいかに関映するのか  
——患者の同意能力・選択の自由の保障と医療保障  
福田 八寿絵 (大阪大学／早稲田大学)
- 17:10 ~ 17:15 座長総括

## **E会場（法文1号館1階22教室）**

### **9:00～10:30 公募ワークショップⅢ**

#### **生殖をめぐる親と子の倫理の探求——PGDをめぐる討議を通じて**

オーガナイザー：伊吹 友秀（国立精神・神経医療研究センター）

岩江 荘介（京都大学）

報告者：伊吹 友秀（国立精神・神経医療研究センター）

堀田 義太郎（東京理科大学）

コメンテーター：土屋 敦（東京大学）

### **10:40～12:10 公募ワークショップⅣ**

#### **病院組織倫理——臨床の倫理的実践をサポートするシステムを求めて**

オーガナイザー：服部 俊子（大阪市立大学）

報告者：大北 全俊（大阪大学）

牧 一郎（市立池田病院）

樫本 直樹（大阪大学）

### **15:45～17:15 公募ワークショップⅤ**

#### **脳神経科学研究の現状に即した脳神経倫理の取組**

オーガナイザー：中澤 栄輔（東京大学）

報告者：中澤 栄輔（東京大学）

高島 響子（東京大学）

土屋 敦（東京大学）

## 多目的スペース（法文2号館2階1大・2大教室前）

### 10:40～12:00 一般演題ポスター発表

- 10:40～10:45 座長挨拶：河原 直人（東京女子医科大学）
- 10:45～10:55 イリア・メチニコフの思想と日本での受容  
家住 祐美子（立命館大学）
- 10:55～11:05 生命倫理問題に対する大学生の意見——看護学科における調査事例  
岩間 淳子（川崎市立看護短期大学）
- 11:05～11:15 出生前診断に関する看護学生の認識——学年差の視点からの考察  
渋谷 えみ（茨城キリスト教大学）
- 11:15～11:25 全国の病院機能評価機構認証病院にたいする臨床倫理に関する質問紙調査  
道和 百合（京都大学）  
瀧本 禎之（東京大学）
- 11:25～11:35 医療倫理学における新しい教育方法論の構築（第一報）  
丸山 マサ美（九州大学）
- 11:35～11:45 小児保健法（案）の意義と課題  
——子どもの権利条約第二四条および一般的意見15号との関係を中心に  
山本 智子（早稲田大学）
- 11:45～11:55 「こうのとりのゆりかご（通称・赤ちゃんポスト）」をめぐる生命倫理  
——トマス主義的自然法生命倫理学の観点からその現状と展望について  
宮原 和沙（医療法人社団天馬会 半田中央病院）
- 11:55～12:00 座長総括